

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2003. 5. 7

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）三辻（彦崎小）松本（国府小）津下（山陽西小）福井（伊島小）

2003年度の例会がスタートしました。新たに彦崎小の三辻先生が参加してくれました。

〔6年生 動物の体のはたらき〕石浦

6年生『動物の体の働き』は、直接観察や実験の行えない体の内部を対象にし、教科書の問も子供の日常からは出にくいものになっています。この単元で子供達の問題意識を引き出すような導入はないものか尋ねたところ、石浦先生から幾つかのアイデアを頂きました。①フンを調べる…アオムシや蚕のフンを水で溶かし顕微鏡でのぞくと未消化の葉脈などが見える。幼虫の体の中で何が起きたのかを考えさせる。石浦先生は現役の時に人間のウンコも観察させたことがあるという。やっぱり偉大です。口から入った食べ物と出てきたウンコを比較させる。大きさ、形、色、においの違いは体のどこでどんな働きにより生じたことなのか。同様に、吐瀉物（ゲロ）と食べ物の違いを考えさせる方法もあるそうです。②入り口と出口の違いから…口からは水、食べ物、空気を取り入れているが、それぞれの出口は異なる。口から入った後、空気は肺から、水は大腸から別々のコースへと進んでいく。それぞれの行方を追っていく。



〔自然科学クラブ リクエスト表〕松本

自然科学クラブの担当になった松本先生。実験・ものづくりの一覧表を子供達に渡して希望の多いものから実施するという。子供の興味・感心を大切にしたい運営方法はさすがです。



〔アクロスティック&人間説明図〕松本

自己紹介カード。見本がいいと児童の作品も良いという好例。

〔口の中で何が起きているのか〕松本

歯磨き指導用ビデオ。食事をしたあとの歯に付いたプラークを時間ごとに顕微鏡で拡大してみる。始めは球菌がポツポツとあっただけなのに次第に菌の種類が増え、ジャングルのようにからまってくる。20日を経過した頃には遊走菌が泳ぎ回ってこのビデオを観たら、歯磨きをせざるを得なくなってしまう。



〔カイコ〕福井

今年も安原先生に頂いたカイコを育てています。卵のついた紙を壁に貼り付けたままにしていたところ、3月末に孵化してしまい、あわてて冷蔵庫で1週間ほど冬眠していただきました。今年は群馬県の蚕種協業組合から人工飼料を分けて貰ったところ、1齢から3齢までの飼育がとても楽になりました。

〔プラナリア（うずむし）〕福井

再生実験で有名なプラナリアを飼っています。エサは週に1度、冷凍したレバーを少し与えるだけ。水替えも汲み置き水を週に1度でとてもラクです。生態もおもしろいし見かけもカワイイ。自切してどんどん増えるので、いろいろ実験できそうです。